

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成23年8月29日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670103466号
法人名	有限会社 甲南メディカル
事業所名	グループホーム すずらんハイツ
所在地	鹿児島市中央町16-19 (電話) 099-812-8633
自己評価作成日	平成23年5月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	-----------------------------------------------------------

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成23年6月16日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設は町の中心部にあり鹿児島中央駅、朝市、商店街、銀行など利用者様が生活する上で買い物や駅周辺での催し物など利用者様の生活を豊かにできる環境にあります。また、交通の便が良いため、ご家族や知人の方々が面会に来やすい場所にあります。利用者様と職員が楽しく、明るい雰囲気の中で共に生活を送っております。ご家族や利用者様がくつろがれ、穏やかな日々が送れるように職員一同で努めております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

鹿児島中央駅近くの住宅街に位置し、買い物、社会資源、交通などの利便性に恵まれた環境に「すずらんハイツ」がある。都市型のグループホームで1階が駐車場、2階が共用空間、3、4階が居住空間になっている。マンション型の造りをプラスにとらえて、日中、2階の共用空間で過ごすことが、利用者にとってはディサービスに通っている感覚で、メリハリのある生活になっている。小学生のサマーボランティア、中学生・高校生・看護学校の生徒たちの実習先として積極的な受け入れをしており、子ども達との交流も利用者の楽しみになっている。また、アニマルセラピーも取り入れて動物たちとの触れ合いの機会も作っている。ホームは職員育成にも力を入れて資格取得の支援や職員の意見・提案・知識・技術は積極的に取り入れるなど質の高いサービスの提供に活かされている。利用者の笑顔と笑い声が絶えないように職員は日々心がけてケアに邁進しており、にぎやかで活気のあるグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は毎年4月に見直しを行っている。理念を掲示すると共に職員の名札の裏に書き入れ、常に確認しながら介護を行っている。	地域密着型サービスとしての意義を踏まえた理念を職員全員で話し合っ作成している。また、パンフレットの施設紹介にも利便性の良い立地を活かして「地域の方々との交流を深めることができる環境を活用し・・・」とあり、地域との交流の重要性を明記している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	近所の理美容室やクリーニング店などを利用し、毎日の食事の買い物も近所の店を利用している。小・中・高のボランティアや介護実習なども積極的に受け入れている。	小学校のバザー見学に出かけたり、小学生のサマーボランティア、中学生の職場体験、高校生・看護学校生の実習などの受け入れを積極的に行っており地域子ども達との交流がある。また、町内会に加入して職員は清掃活動などの参加を通じて地域住民との交流に努めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症やグループホームなどの施設入所の相談は丁寧に応じるように心がけている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は二ヶ月に一回、定期的で開催しており行事の報告や災害時の対応、外部評価の結果などを報告し、ご意見を伺いサービスの向上に活かしている。	民生委員、家族、職員、行政等の参加を得て2カ月に1回開催している。運営推進会議の目的、意義などを家族会でも説明して、できるだけ多くの家族の理解と参加を得られるようにはたらきかけている。また、年1回はほとんどの家族が参加している家族会を運営推進会議と兼ねるなど工夫している。	

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員の受け入れや福祉事務所、市担当窓口などへ事務手続きに行った時など情報交換を行い協働してサービスの向上に活かしている。	生活保護を受給している利用者もあり、日頃より、協力関係を築くように連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員研修などで「介護保険法において禁止の対象となる具体的な行為」を全職員が正しく理解しており常に自分自身のケアを振り返り、身体拘束をしないケアを行っている。	毎年、定期的に高齢者虐待防止法・身体拘束についての勉強会を行って身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。職員間の連携で日中は施錠などせずに安全で自由な暮らしを支援している。外出傾向の利用者には職員がさりげなく付いて行き見守っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について全職員が理解している。又、事例検討会などで学ぶ機会を設けて虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員研修で日常生活自立支援事業や青年後見制度について学ぶ機会を持ち、利用される方があれば管理者を中心に支援していきたい。		

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約の終結、解約、改定等は十分に説明を行い納得されたことを確認してから同意を得、契約や解約等を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>一階のエレベーター前にご意見、苦情箱を設置している。利用者様やご家族がなんでも職員へ言える雰囲気作りを心がけている。出されたご意見はミーティングなどで話し合い改善するように心がけている。</p>	<p>毎年行われている家族交流会、面会時や電話連絡時に家族から意見、要望を聞き出すようにしている。利用者からは日常の会話の中で意見、要望を引き出すようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>一週間に一回、ミーティングを行い、意見交換を行っている。出された意見や提案は運営に反映されるように努めている。又、意見や提案など自由に発言できるように努めている。</p>	<p>毎週行われているミーティングは基本職員は全員参加で様々な提案や意見交換などが話し合われる機会になっている。職員の知識、技術は積極的に取り入れるようにしており、サービスの質の向上・運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は週一回のミーティング時や出向いたとき、職員各自の状況を把握、時には労いやアドバイスをを行い職員がやる気をだして働けるよう努めている。</p>		

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部の研修に積極的に参加できる環境を作っている。施設内でも毎月、職員研修を行い介護の質の向上や情報の共有ができるように努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>関連の施設と行事を一緒に行ったり、それぞれの施設を訪問してお互いのサービスの質の向上に努めている。地域包括支援センターを通じて同業者と交流の機会を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様に面会を行ったり、施設を見学していただき利用者様が納得いただけるまで相談や要望を聞き不安を取り除けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用されるまでご家族との面会の機会を多く持ち、ご家族の不安や求めていることを聞きご質問等に丁寧に答え、安心していただけるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様やご家族の状況や要望を十分把握するように努め、サービスに活かしている。又、他のサービス利用が必要な場合にも対応できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員全員が利用者様と共に生活している者同士であることを理解している上で人生の先輩として敬い、お互いが支えあう関係であるように努めている。		

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様の状況は逐一報告し、ご家族と情報を共有している。又、ご家族の協力を得ながら利用者様が安心して暮らしていけるよう支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人が入居後も付き合いが継続できるように受け入れている。来訪時には居心地の良い雰囲気作りに努めている。又、自由に外出できるよう支援している。	地域の同好会に入っている利用者があり、入居後も関係が途切れないように支援している。また、地元商店街での買い物など昔馴染みの場との関係継続の支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は利用者様一人ひとりの個性を大切にしながら日々の暮らしの中で利用者様がお互いを労り合いながら生活できるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても気軽に相談や訪問していただけるように努めている。又、退去後も訪問したり、年賀状など近況を知らせ合う関係を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様やご家族、その他の関係者からどのような暮らしを希望されるか聞き介護計画に反映させている。入居後も日々の関わりのなかで利用者様の意向をくみ取るように心がけている。	会話の中から思いや意向を把握し、困難な場合はこちらから話題を投げかけたり、表情、言動、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に利用者様やご家族、その他の関係者から話を聞き情報を得るように努めている。入居後も折にふれ話を聞き、馴染み深い物をサービスに取り入れるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は一人ひとりに眼を配り利用者様の生活のリズムや心身の状態を把握し、現状に添った生活ができるように支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	より良い暮らしを行っていただくために利用者様、ご家族、職員、主治医などと話し合い、介護計画を作成している。又、毎月モニタリングを行い介護計画の見直しを行っている。	本人、家族の要望、職員の意見、提案など反映させた現状に即した介護計画を作成している。	



鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、ケース記録、申し送りノートやひやりハットに記入し情報の共有を図り、毎月のモニタリングや介護計画の見直しなどを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診時の送迎や買い物など利用者様の希望や状況により臨機応変に対応し、利用者様やご家族の満足が得られるように努めている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様が安心して地域で生活できるよう警察、消防、民生委員の協力をお願いしている。ボランティアや職場体験、アニマル・セラピー、介護実習など受け入れ、入居者様が安心して生活できるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は入居前からかかっている医療機関など利用者様やご家族の意向を大切に決めていく。訪問診療時も適切な治療が受けられるよう情報提供に努めている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。ホームに看護師も常勤しており、利用者の健康管理と家族、職員の安心に繋がっている。	

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけ医や協力医療機関の看護師と情報交換を行いながら相談、助言が受けられるように関係が築けている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には利用者様の情報を医療機関に提供し、入院中は頻繁に職員が面会を行い利用者様が不安にならないように配慮している。又、対応可能な段階でなるべく早く退院ができるように取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に対する対応指針を定め、家族に説明し同意を得ている。又、状況に応じて利用者様やご家族、主治医と相談しながら支援に取り組んでいる。	入居時に対応方針を家族に説明している。看取り介護については家族会でも定期的に話題にして、家族の理解が得られるようにしている。看取りの経験もあり、職員は定期的に勉強会を行って不安のないように支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル作成や研修を行い応急の対応ができるようにしているが現実には主治医に連絡して指示を仰ぐようにしている。		

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>緊急時のマニュアルを作成して年二回、夜間体制が含まれた避難訓練を行い全職員が情報を共有している。スプリンクラーや自動通報装置を新たに設置しました。</p>	<p>昼夜間想定で避難訓練を行って、近隣の商店などにも協力要請を行っている。マンション型のホームのため、居室が3,4階にあり、職員が交代で夜勤担当になるなど実践的な訓練を行っている。運営推進会議で備蓄についての話し合いも行っており、災害時に備えられるようにしている。</p>	

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様への日頃の声かけについては個人を尊重しながら親しみを持てるような声かけを行っている。特に入浴時や排泄時などプライバシーが保てるように配慮している。	声かけなど配慮しながら対応している。定期的に勉強会を行って、職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の希望やできること、興味のあることに理解を示し利用者様の納得のいく生活ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れは本人の体調などを配慮し、柔軟に対応している。外出や趣味など本人の意向を確かめながら決めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替え、洗顔、整髪を起床時や入浴後、その方らしい身だしなみができるように支援している。訪問理美容の方に定期的に来ていただき白髪染めなど希望があれば職員が対応している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を使ったメニューになるように工夫し食材の下ごしらえや調理法、献立を一緒に考えたり一緒に食事を摂りながら味付けやできばえを話し合い楽しい雰囲気作りを心がけている。	季節感を味わえるように利用者と共にトマト・ピーマン・しその葉・イチゴなど家庭菜園を作って収穫を楽しんでいる。また、食事は全員一緒にテーブルを囲んで会話を弾ませている。花見の時期には手作り弁当持参で近隣の公園で季節を感じながら食事を楽しむこともある。	

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量や水分摂取量は個人別の記録に全員記録されている。排泄状態も参考にしながら健康状態が把握され、より快適な生活が送れるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きやうがいができるようにリビングの洗面台にコップと歯ブラシを個別に準備してあり職員が声かけや見守り介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的な声かけを行いながら個々の排泄パターンや習慣を把握し、さりげなくトイレへ誘導することで失敗を減らすように努めている。	自立している利用者も多く、入居時、全介助が必要だった利用者も職員のこまめな声かけ誘導で自分でトイレに行き、排せつができるようになるなどトイレでの排せつや自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックや水分摂取量チェック表などを活用して定期的な排泄があるように努めている。又、繊維の多い食材を取り入れたメニューになるように心がけている。		

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日曜日以外は毎日、入浴できる体制にあり週3回程度を基本としているが希望があれば入浴やシャワー浴ができる。入浴剤などを使用し気持ち良く入浴できるように支援している。	希望があれば毎日の入浴も可能で個々に応じた入浴の支援を行っている。また、自立している利用者もあり、職員の声かけと見守りで安全な入浴を支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間眠れるようにできるだけ昼間は起きて活動していただくように支援しているが日中でも休息したい方は居室へ帰っていただきカーテンや室温など快適に過ごせるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬のファイルがあり個々に服用している。薬の目的や副作用、用法、用量が確認できるようにしている。薬の処方変更は申し送りノートに記録、全職員が情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の得意なことや好きだったことを利用者様やご家族から情報を得ており、縫物や編み物、野菜や花作りなど一人ひとりの得意なことで役割や楽しい気分になるよう支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者様の希望に応じて近くの商店街やイベントに出かけられるように支援している。ご家族と外食や自宅などに出かける機会が持てるように支援している。	地元商店街や商業施設に散歩がてら買い物に出かけている。また、木市や弁当持参で花見に出かけるなど季節を感じられるように外出支援をしている。	

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様の希望に応じてご本人でお金を管理していただき買い物が楽しめるよう支援している。お金の管理が出来ない方も支払時、自分で支払いが出ているように援助している。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者様の希望があればご家族へ電話をかけたり、ご家族や友人の方からの電話を取り次いでいる。手紙も利用者様が書かれた時はだして、届いた手紙は利用者様に渡している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設の入り口には季節の花や野菜を植え、玄関には毎月変わる手作り人形が置かれ、各階には入居者様が作ったちぎり絵が飾られておりリビングの室温や明るさなど快適に過ごせるように努めている。	共用空間は広くフロアの中心にリビングがあり、回りに台所、浴室、トイレが配置され、職員、利用者が動きやすい造りである。和室もあり仏壇が置かれ、手を合わせる利用者もいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファや和室があり、利用者様が独りになりたいときなどプライバシーが得られるように配慮されている。		

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた家具などを持ってきていただくようお願いしている。居室にはご家族の写真や花などが飾られ居心地良く過ごせるように配慮している。	布団、タンス、仏壇、ラジオ、目覚まし時計など使い慣れたものが持ち込まれ居心地良く過ごせる居室である。洗面台が各居室に設置されているので歯磨きや洗顔など自立に結び付いている利用者もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ローカ、トイレ、浴室など手すりが付いており安全に移動できるように配慮している。施設内は段差にない設計がなされており、車椅子や歩行器の方もスムーズに移動できるよう工夫されている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない